



2026年7月11日(土)から企画展「養老孟司と小檜山賢二の虫展-みて、かんじて、そしてかんがえよう-」がスタートします。この展覧会では、深度合成の技術を使って撮影した写真をもとに、ミクロの視点で様々な昆虫の姿を紹介します。



企画展 深度合成ってなに？

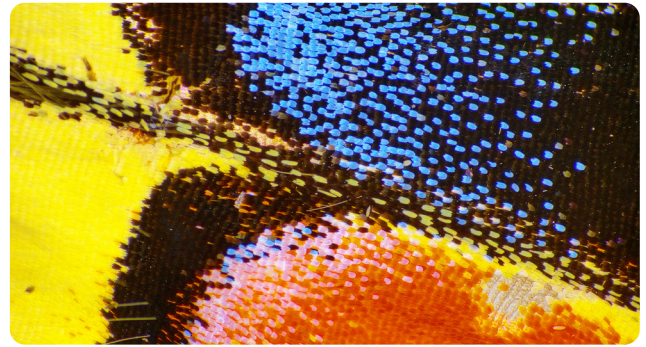
小さな昆虫を撮影しようとする、必ずピントが合わない(くっきり写らない)部分が出てしまいます。これを解決するのが深度合成です。ピントが合う位置を少しずつずらして撮影した写真を何枚も合成することで、全体にピントがあった写真にすることができ、昆虫の体の細部まで観察が可能となります。



ホウセキメカクシクチプトゾウムシ 撮影:小檜山賢二

下の写真はどんな昆虫のどの部分かな？

答えも博物館常設展で探してね。



1 クワガタムシの

2 ナミアゲハの

常設展示室の顕微鏡では、いろいろな昆虫の標本を細部まで拡大して観察できます。ぜひミクロの視点での昆虫観察に挑戦してください。



企画展

養老孟司と小檜山賢二の虫展

みて、かんじて、そしてかんがえよう

2026年7月11日(土)～9月23日(水・祝)
一般1,500円、高大生1,300円、中学生以下無料



博物館
ホームページ



常設展

孝母城（七州城）を探究しよう！

現在の豊田市博物館・豊田市美術館の場所に江戸時代にあった七州城に関連する資料を紹介します。



七州城図 明治20年代 牧野敏太郎筆 豊田市指定文化財



七州城からは7か国が見えたといわれています。その国を○で囲みましょう。

やまし 山城	みかわ 三河	おわり 尾張	みの 美濃	むさし 武蔵
おうみ 近江	しなの 信濃	いせ 伊勢	いが 伊賀	のと 能登

孝母藩士の家に生まれた牧野が、かつて見た記憶を元に描いた絵です。高い大手門や隅櫓、御殿の配置などが正確に描かれており、城内には多くの木々が残っていた様子が分かります。



いずれも七州城に関係のある資料です。これらは何だろう？



1 北門の

ヒント：形は違うけど、
みんなの家の玄関にもあるかも。

七州城の北門は
豊田市博物館の
場所にあったよ。

2 大手門の

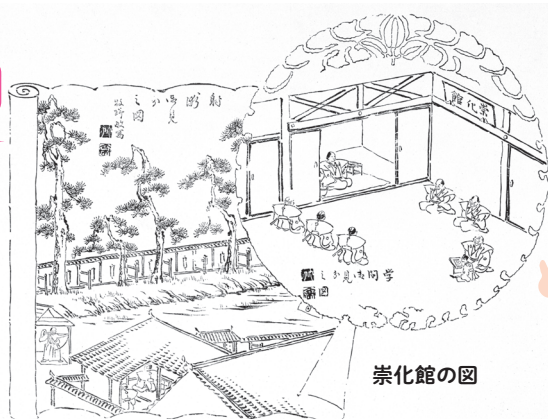
わたしは
上の絵（七州城図）
のどこに
いたでしょう？



大手門 18世紀／江戸時代後半
豊田市指定文化財 個人蔵

考えてみよう！

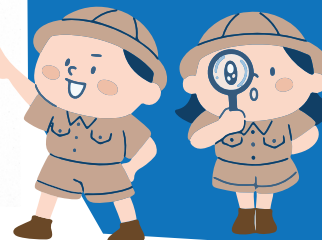
孝母藩の藩校・
崇化館の様子だよ。
江戸時代の学校
だった藩校では何を
学んでいたのかな？



崇化館の図

楽しいイベントもあるよ！

夏休みに
博物館へ行こう！



博物館
ホームページ

答え

表面

①口

②羽根

裏面

三河・尾張・美濃・近江・信濃・伊勢・伊賀

／①錠前(カギ)

②鯨